

令和2年度版 改善計画

学校名: 山梨県立巨摩高等学校

No	項目	現状と課題	R3年度に目指すべき状態	①R2年度に実施する内容 ②R3年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	ここ数年、会議の効率化と削減に取り組んできたためある程度の成果が得られている。しかし、会議の内容によっては、長時間かかる会議があり、まだまだ効率化を進める余地はある。事前回覧の徹底などを通して出席する職員が短時間で有意義な議論を進められるよう改善する必要がある。	○参加者が共通している会議は、できるだけ同一日に効率よく実施し、勤務時間内に終わられるよう計画されている。 ○参加者がその会議での審議内容を意識して参加し、短時間で深い議論ができるよう努力をしている。	①目指すべき状態を会議の参加者が理解し、お互いに積極的に声掛けなどを行い、効率的な会議を開催する。 ②参加者の当事者意識を高めた効率的な会議にするために、議題の事前提案等の方法を検討する。	
2	学校行事の負担軽減	行事の分散化を図りたいが、外部連携事業が多く思うように分散化できないことが多い。分掌ごとに多忙期を予測した業務の取組を検討し、準備運営にあたることで、個人負担の軽減を図る必要がある。	○分掌ごとに年間を通しての業務内容の確認が行われ、多忙期に業務が重ならないような準備計画を立案し、業務分担されている。 ○分掌内で情報共有がなされ、特定の個人の過重負担にならないよう配慮されている。	①職員の出勤記録調査等を元に月間ごとの業務軽重変動を可視化し、各分掌主任にフィードバックすることで、年間の業務を意識した業務分担を行う。 ②行事の精選と業務分担の見直しの検討結果を受け、多忙期を予測した業務配分モデルの検討を行う。	
3	校内組織の見直し	分掌業務の内容を整理し、業務の調整を行った。分掌によっては、業務配分のバランスが悪く、特定の個人の負担によって成り立っている業務も見受けられる。今年度も各分掌や分掌内業務の均等化を図れるような見当が必要である。	○分掌の業務内容の確認と精選を行い、学校運営が効率的に行われるような校内組織が構築されている。	①分掌主任を中心に業務内容や時期を業務引き継ぎ書に記録していくことで、次年度の組織運営の資料とする。また、業務分担の軽重があれば組織の改編も含め検討を行う。 ②各分掌の業務内容の確認と精選を実施し、負担格差を軽減できるかを検討する。	
4	業務の効率化	学年や分掌内で情報を共有し、様々な業務を複数名で取り組めるような環境づくりが必要である。また、フォルダやファイルを共有することで資料作成等の効率化を図ったり、TeamsなどのICTを効果的に活用したりすること業務の効率化を図っていきたい。	○業務を分担するなどして複数名で担当し、個人が負担を感じることがないような業務の割り振りやマニュアル化が行われている。	①個人の過重負担にならないような分掌業務の計画運営を行う。また、業務のマニュアル化を推奨する。 ②複数名で担当することで、業務の効率化を図ることができるか検討する。	
5	部活動の負担軽減	特定の部活動において顧問の過剰勤務の状態が続いている。生徒の休息の必要性と学びの保障の視点からも計画的で効率的な部活動指導の方法を検討し、顧問及び生徒の負担軽減を図る必要がある。	○生徒の休息と学びを保障した部活動の計画の立案と科学的な根拠に基づいた効率的で効果的な練習が実践されている。	①試験前や長期休業などにおいて生徒の休息時間や学習時間を確保できるような部活動計画を立案する。また、効率的で効果的な練習方法を部活動顧問が積極的に研究、推進する。 ②生徒が部活動をとおして充実感や達成感が得られるような活動と生徒の学びを保障した文武両道を図ることができるような年間計画がどのようなものかを研究・検討する。	
6	地域人材の活用	13名の外部指導者に部活動指導の協力を依頼し、部活動の充実に貢献してもらっている。また、通学時マナーアップ運動などの際に保護者や地域の方の協力を得て、生徒の通学指導等の協力を依頼している。このような活動を積極的に行うことで、地域に根差した学校にしていく必要がある。	○生徒が外部指導者との交流をとおして人間性を高めたり、警察・保護者などの協力や交通マナーの向上が図られたりすることで、地域に愛される学校になっている。	①文化部の活動を充実させる行事の一環として『巨摩フェスタ』の内容を充実させ、地域の人々に積極的に公開する。また、通学時マナーアップ運動のときだけではなく、登下校時の安全運転指導に地域警察(南アルプス署交通課)や保護者の協力を仰ぐ。 ②部活動の外部指導者の開拓と指導の謝礼の金額や検出方法についての検討が必要である。	
7					
8					

※達成状況: 次のA～Dで評価し、各年度末に県立学校は県教育委員会へ、公立小中学校は市町村教育委員会へ提出する

A 達成できた B ある程度は達成できた C あまり達成できなかった D 達成できなかった

※様式は、必要な項目が含まれていれば、適宜、変更して使用して差し支えないこと。